

⚠️ 配線器具火災にご注意を!! ⚠️

コンセントや電源コードなどの配線器具が原因の火災が相次いでいます。平成30年中に全国で発生した建物火災20,764件のうち、配線器具からの出火は1,133件で全体の5.5%を占めています。

配線器具からの火災で多いのは「トラッキング現象」「断線によるショート」「接触不良による異常加熱」「タコ足配線による過電流」「束ね配線からの発火」などで、いずれも電気が素直に流れることが出来なかったために引き起こされます。電源プラグとコンセントの間の隙間にほこりが溜まったり、汚れや液体が付着してショートする。引っ張ったり重い物を乗せたりして部分的に電気抵抗が増して過熱する。そんな日常生活でよくある状態には出火の危険性が潜んでいます。誰の家にもある電気配線ですが、使用方法を誤ると火災を引き起こしてしまうことがあります。

配線に埃が溜まっていないか？ 無理なテンションがかかっていないか？
コンセントにきちんと接続されているか？ 家族みんなで定期的を確認しましょう!!



トラッキング現象



コンセントにほこりと水分が溜まり放電し、電気回路が形成され出火する現象。防止する配線機器もあります。

タコ足配線による過電流



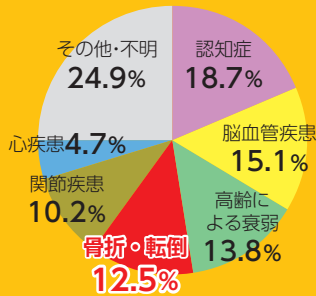
定格容量を超えて一度に多くの電気機器を使用し続けると、過電流が流れ、発熱して出火する恐れがあります。

束ね配線による加熱



電源コードを束ねたまま使用したことで熱の逃げ場が無くなり、出火することもあります。

⚠️ 高齢者の転倒・転落にご注意ください! ⚠️



厚生労働省「国民生活基礎調査(平成28年)」によると、高齢者の「骨折・転倒」は介護が必要となる原因の第4位であり、事故によるものでは一番大きな原因となっています。

事故の原因となるものを減らしましょう

高齢者の転倒・転落事故の多くは家庭内のリビングや、廊下、玄関などで起きています。家庭内の環境を改めて確認しておき、段差など高齢者にとって危険となる箇所や負担になる箇所を減らしましょう。

引用参考文献：消費者庁公表資料2018年9月12日「御注意ください！日常生活での高齢者の転倒・転落！」

救急車の
適正な利用を
お願いします

平成30年中における市内での救急出動件数は3,650件で、近年増加傾向です。その一方で、救急車の利用者の約5割が入院の必要がない軽症の患者となっています。市内の救急車は3台と限られており、出動件数が多くなると、救急車を呼んでも最寄りの救急車が出動できなくなる可能性があります。救急車は限られた資源です。本当に救急車を必要としている方のためにも、救急車の適正な利用にご協力ください。判断に迷ったら救急電話相談をご利用ください。

おとな救急電話相談

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から
短縮ダイヤル#7119
すべての電話から☎03-5367-2365

子ども救急電話相談

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から
短縮ダイヤル#8000
すべての電話から☎03-5367-2367

※24時間365日対応

問 牛久消防署 ☎873-0119



再生紙、環境に優しい植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。